

お知らせ

2019年度「公募型共同研究事業」の採択を決定しました

(公財) 若狭湾エネルギー研究センターでは、福井県が推進する「エネルギー研究開発拠点化計画」の一環として、県内をはじめ、関西・中京圏の大学・研究機関等との共同研究を推進しています。

2019年度は、4月22日～5月31日まで、事業化・実用化を目指す企業を研究体制に加えた「産学連携研究」と、研究者が共同で行う「基礎研究」に関する公募を行いました。

このたび、10件（産学連携研究1件、基礎研究9件）の提案があり、審査の結果、下記のとおり、8件（産学連携研究1件、基礎研究7件）の採択を決定しましたのでお知らせします。

記

【産学連携研究枠（1件）】

(掲載は提案機関五十音順)

件名	研究概要	[提] 提案機関 [企] 参加企業 [協] 研究協力機関
レーザー除染技術の土木建築分野への応用・実用化研究	若狭湾エネルギー研究センターが開発を進めているレーザー除染システムの他用途展開として、周辺環境にやさしく安全な屋外塗膜剥離施工技術・装置を開発するための研究を行う。	[提] 光産業創生大学院大学 [企] KYLAS(株) [協] ライトウェイ(株)

【基礎研究枠（7件）】

(掲載は提案機関五十音順)

件名	研究概要	[提] 提案機関 [協] 研究協力機関
陽子線頭頸部がん治療における放射線性口腔粘膜障害の発症動態および病態の解析	頭頸部がんの陽子線治療に伴う正常組織への陽子線被ばくの安全性を担保するため、陽子線被ばくによる口腔および舌の粘膜障害の発症動態および病態を明らかにするための研究を行う。	[提] 福井大学
粒子線によるヒト ips 由来神経細胞の細胞死・炎症メカニズム解明	ヒト induced pluripotent stem cell (ips 細胞) から分化誘導したヒト神経細胞及び神経幹細胞を用いて、粒子線の感受性と細胞死・炎症のメカニズムを調べる。	[提] 京都大学
福井県での栽培に最適化した酒米”新山田錦”の育成	福井県内での多収安定栽培が容易で、酒米の重要な形質である「デンプンが溶けやすい」特性を併せ持つ“山田錦”を育成するための研究を行う。	[提] 福井県立大学
大気雰囲気におけるリチウム酸化物の水素濃度分布その場イオンビーム計測の技術開発	ラジカル含有リチウム酸化物材料の水素吸収、貯蔵および放出機構を解明し、常温で水分解を可能とする燃料電池用水素供給源を開発するための研究を行う。	[提] 名城大学
カバノアナタケによる抗糖化物質の生産とその解析	保健機能食品の機能として、近年注目されているが商品化が進んでいない抗糖化機能を持つカバノアナタケについて、イオンビーム照射や液体表面培養などの生産条件を検討し、得られた抗糖化物質の化学構造と性質を解析するための研究を行う。	[提] 福井大学
子宮頸がんに対する粒子線治療の有効性と治療効果予測に関する基礎的検討	放射線治療や化学療法に抵抗性を示す子宮頸部の腺がんに対し、粒子線治療の開始早期における治療効果予測をPET分子イメージングにより達成可能か検証するための研究を行う。	[提] 福井大学
DLC 膜の医用応用のための親水性制御に関する研究	炭素系新材料DLC(ダイヤモンドライクカーボン)膜の医用応用のため、DLC表面の親水性の起源について、材料中のナノ構造(ポロシティ)と水素量に着目し、親水性との相関関係を調べるための研究を行う。	[提] 京都大学 [協] 産業技術総合研究所